

2023 年度 数学教育学会 夏季研究会 (関東エリア)

1. 日時 2023 年 7 月 2 日 (日) 10:00-17:00
2. 場所 学習院大学北 1 号館 3 階 301 教室 (会場 A), 2 階多目的室 A 室 (会場 B)
3. プログラム (対面式 & オンライン式ハイブリッド型)

09:40 受付開始 北 1 号館 3 階 301 教室 (会場 A)

10:00 開会の挨拶 (会場 A)

10:05 研究発表 I (会場 A, 司会: 北島茂樹 (明星大学))

- ① 10:05~10:30 赤羽 泰 (淑徳小学校)

「小学校児童の統計的リテラシー再考 - グラフの批判的解釈を中心に -」

- ② 10:35~11:00 多田和功 (神奈川学園中学高等学校)

「四角形の合同条件を考える授業の一案」

- ③ 11:05~11:30 佐藤英二 (明治大学)

「仮説の生成を目的とする課題学習の授業の開発 - モビール作り (高校数学 II・数学 III) -」

- ④ 11:35~12:00 小原 豊 (学習院大学)

「生成 AI の教育利用の試案における数学科教員志望学生の解釈」

12:00 昼食休憩

13:00 研究発表 II (会場 A, 司会: 松崎昭雄 (埼玉大学))

- ① 13:00~13:25 渡辺 信 (生涯学習数学研究所)

「1500 年の空白 - 数学史に見る空白の存在」

- ② 13:30~13:55 島 智彦 (神奈川学園中学高等学校)

「立方体の辺上や面上に並んだ●の総数を求める問題の教材化」

— 正方形の辺上に並んだ基石の総数を求める問題の発展 —

- ③ 14:00~14:25 長嶋 清 (元青山学院大学), 町田彰一郎 (埼玉大学)

「小学校から中学校への滑らかな接続を意識した「数と計算」

— 「放課後学習」実践研究を通して —

- ④ 14:30~14:55 川之上光 (横浜市立屏風ヶ浦小学校)

「小学校における折れ線幾何の教材化再考」

13:00 研究発表 III (会場 B, 司会: 金児正史 (帝京平成大学))

- ① 13:00~13:25 大石泰範 (八千代松陰高等学校)

「四面体の決定条件に関する教材研究」

- ② 13:30~13:55 青木孝子 (東海大学)

「小星形十二面体の空間充填」

- ③ 14:00~14:25 梅宮亮 (横浜市立汐入小学校) 小原豊 (学習院大学)

「数学教育研究におけるテキストマイニングの意義と課題」

15:10 学会課題 SG ワークショップ (会場 B, 代表: 白石和夫 (文教大学))

「海外 (シンガポール) の教科書を見て日本の算数・数学教育を考える」

～ Society 5.0 に対応できる文理融合の学校数学の構築と教員養成・研修の実施とその評価 ～

17:00 閉会

開会 & 研究発表 I : Zoom Meeting

オンライン参加希望者は 7 月 1 日 17 時までに [yutaka.ohara@gakushuin.education](mailto:yutaka.ohara@gakushuin.education) にご所属と氏名をお知らせください。

研究発表 II : Zoom Meeting

オンライン参加希望者は 7 月 1 日 17 時までに [yutaka.ohara@gakushuin.education](mailto:yutaka.ohara@gakushuin.education) にご所属と氏名をお知らせください。

研究発表 III : Zoom Meeting

オンライン参加希望者は 7 月 1 日 17 時までに [yutaka.ohara@gakushuin.education](mailto:yutaka.ohara@gakushuin.education) にご所属と氏名をお知らせください。

